

会 議 録

会議の名称	令和3年度 第1回戸田市保健対策推進協議会
開催日時	令和3年11月16日(火)(午後1時55分～午後3時10分)
開催場所	戸田市文化会館3階 302会議室
出席者	学識経験者(埼玉県立大学教授):北畠 義典 蕨戸田市医師会:早船 直彦 埼玉県南部保健所:鈴木 洋子 蕨戸田歯科医師会:板橋 裕 戸田市社会福祉協議会:田中 庸介 戸田市食生活改善推進委員会:松田 素子 戸田市商工会:金子 秀一 戸田市町会連合会:金子 清視 公募による市民:前野 裕子 公募による市民:小川 敬洋 公募による市民:高橋 美幸
欠席者	戸田市薬剤師会:成塚 康之
事務局	健康福祉部 久川部長 福祉保健センター 後藤所長、岩崎課長、岡本課長、長谷川主幹、 中島副主幹、野口副主幹、宮崎主任
議題	(1) 福祉保健センターの概要 (2) 第3次戸田市健康増進計画及び第2次戸田市食育推進計画の概要説明と進捗について (3) 福祉保健センターの令和2年度以降の新規事業等について (4) 第4次戸田市健康増進計画及び第3次戸田市食育推進計画の策定スケジュールについて (5) その他
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	(1) 第3次戸田市健康増進計画及び第2次戸田市食育推進計画(リーフレット) (2) 第3次戸田市健康増進計画及び第2次戸田市食育推進計画(冊子) (3) 戸田市保健ガイド

(会議発言の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	■開会
事務局	■挨拶及び事務局紹介
事務局	出席委員数報告をする。本日の出席委員数は11名、委任状提出1名。本協議会要綱第6条第2項により本協議会の会議は成立した。
会 長 事務局 会 長 委 員	■議事 (1) 福祉保健センターの概要 事務局より説明をお願いする。 福祉保健センターの概要について説明した。 何か意見があるか。 特になし。
事務局	(2) 第3次戸田市健康増進計画及び第2次戸田市食育推進計画の概要説明と進捗について 資料を基に成人保健担当及び親子保健担当がそれぞれ説明した。
会 長	何か質問、意見等はあるか。
委 員	呉汁とはどんなものか。
事務局	戸田市史に記載があり、大豆を用いた汁である。大変栄養価があり晴れの日に食されていたと思われる。HPにレシピを公開している。
委 員	戸田市は健康寿命が県内で最下位であり、一人当たりの医療費が県内トップという状況が何年も続いているが、今もそうか。
事務局	あまり変化がなく、同じような状況で推移している。
会 長	現状の改善はすぐにはできないが、少しずつ続けてきたものが5年後10年後に成果がみえてくる。健康増進計画や食育推進計画などリーフレット等を作成し、市民に分かるように伝えようとしていることが分かる。いかに市民に伝えていくかが重要である。そのため、計画推進のために全世帯への勧奨通知の発送や健康情報ステーションの設置、HPの活用、周知啓発のためののぼりなど相当の努力が分かった。こうした活動は継続していくことが大切であり、情報がどこにあるかを伝えていくことも重要。スマホ等により様々な情報を取得することができるが、そうで

	<p>ない方は情報社会から孤立することになる。そういった場合、口コミで情報が広がっていくことも大いにあるので、情報を知った市民が周りに伝えていただくように促すことも有効である。</p>
委員	<p>健康増進計画の理念の中に、健康に関心のない層として子育て世代や働き世代とあるが、何か特徴や根拠はあるのか。</p>
事務局	<p>市民アンケート調査において、30代女性及び50代男性が「週2回以上身体を動かす頻度がある」という割合が低かった。ここから子育て世代の女性及び働き世代の男性が運動している頻度が低いという傾向があることが分かっている。そのため、この方々に運動していただきたいが、なかなか直接センターにお越しいただき教室等に参加していただくことは難しい。そのため、現在行っている「ウォーキング Get キャンペーン」などをきっかけに自分たちで運動に取り組んでいただけるよう働きかけている。</p>
委員	<p>高齢者の方はスマホ等を持っているが、うまく活用できないことが多いので、はがき（紙）での情報発信が有効である。</p>
会長	<p>現在、ペーパーレスが進められているが、ターゲットごとにツールを使い分けることが有効である。</p>
委員	<p>ターゲットとなる層の方々には、関心がないのはもちろんだが、市が行っている取り組みを知らない。知る機会がないので、ポスターやのぼり等情報発信が非常に大事だと感じる。HP等のWebでの情報発信も併せ、引き続き行ってほしい。</p>
委員	<p>戸田市の取り組みとして、健康体操など対象年齢が高い人向けのものはあるが、若い人が参加できるイベントがなく、運動に参加する機会が減っている。また、共働きで時間がない世帯も多くなってきているが、そういった人たちについての対策も考えていかなくてはならない。</p>
事務局	<p>国等からの事業として対象者が特定されている場合がある。その場合、どうしてもそちらを行う必要もあり、目立ってしまっている。運動する機会が少ない方の中には、健康への関心が無いのではなく、単純に時間がなく取り組めない方もいるのは承知している。そのため、今回の取り組みとして、通勤等の移動であっても意識して歩くことで健康への関心につながっていくと考え、健康マイレージの事業を実施した。これらの取り組みを組み合わせながら、全体的に健康への関心を押し上げていきたいと考えている。</p>
会長	<p>健康日本21が始まり、サイクリングロードや公園等環境を整えなくてはならないとなっているが、戸田市ではどうか。</p>

事務局	戸田市は市全域で坂が比較的少なく、自転車を推進するため、都市交通課で自転車道の整備を進めている。
事務局	(3) 福祉保健センターの令和2年度以降の新規事業等について 新規事業について資料を基に説明した。
委員	聴覚スクリーニングとはどんなものか。
事務局	OAE や ABR を出産時に行っている。今までも聴覚スクリーニングを実施したかどうかについては、新生児訪問時や4か月児健診時に確認していた。今年度より埼玉県により医療機関と一括委託を行っており、費用の負担なく検査を受けることができるようになっている。
委員	早期発見による利点はどんなことがあるか。
事務局	早期発見により早い段階で対応が可能となる。
会長	スマホ de ドックについて、健康への関心が少ない若い世代をターゲットとしているが、何か意図はあるのか。
事務局	時間が取れず健康診断を受けられない方へ、医療機関に行かず、健康状態を把握できる方法としてニーズがあるのではないかと考え実施した。令和2年より定員100名の少数から実施しているが、多くの申込をいただいているので、今後事業の拡大を検討している。
委員	やってみたいと思う方へのきっかけづくりとしてはいいが、精度が若干心配である。
事務局	結果と併せて、医療機関への受診等アドバイスも送っている。これを基に健康への意識を高めていただきたいと考えている。
委員	成人歯科検診について、実施から10年が経過するが、推移はどうなっているか。
事務局	成人歯科検診の目的として、早期発見・予防に努めてほしいと考え、3年前から30歳、40歳の方に再勧奨通知をしている。この通知を行うことにより、受診者が増加した。
会長	かかりつけ歯科医があると長生きするという論文も発表されたので、歯だけのこととしてとらえるのではなく、長寿に関わるエビデンスも出てきているのもっと

	<p>興味を持ってもらえるとよい。</p>
事務局	<p>(4) 第4次戸田市健康増進計画及び第3次戸田市食育推進計画の策定スケジュールについて</p> <p>資料を基に説明した。</p>
会 長	<p>国の計画が1年延長となったが、市の計画はずらさないのか。</p>
事務局	<p>国の計画が令和5年の早期に次期計画を提示することなので、提示させていただいた策定スケジュール通り進める予定である。</p>
事務局	<p>(5) その他</p> <p>次回の開催について</p>
	<p>■閉会</p>
	<p>以上</p>